



## 第132回 勉強会「ジオラボ」

主催:(公社)地盤工学会九州支部・長崎地盤研究会  
共催:長崎県測量設計コンサルタンツ協会  
後援:長崎県技術士会

日 時:令和4年12月9日(金) 14:00~17:00

会 場:長崎大学文教キャンパス 工学部1号館4階11番講義室

(いつもと異なりますので、ご注意ください)

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/access/bunkyo/index.html> (地図中の「工学部」と書かれた建物です。)

もしくは zoom オンライン会場

<https://nagasaki-u-ac-jp.zoom.us/j/84756977608?pwd=TTB1V09VZ1RkRU01WFY0OTFNTGZpZz09>

ミーティング ID: 847 5697 7608 パスコード: 420332

参加費:1,000円(対面・オンラインによらず年度末に一括してご請求いたします)

話題提供:14:00~17:10(①:14:00~15:30/②15:40~17:10の予定)

### ①不足する水資源と暴れる水

吉川 沙耶花 先生(長崎大学大学院 工学研究科)

概要:我々の生活に欠かすことのできない水資源。不足すれば食糧生産ができず、飢えに苦しむことになる。

多すぎると管理が大変となり、時には災害が発生し、人命が失われる。我々の生活を維持するためには、適度に利用することが理想的ではあるが、実際には膨大な水を使用している。本発表の前半では世界の水資源依存とその将来予測について、後半では日本における極端降雨と気温上昇の関係についてお話をしたいと思う。

### ② 既設トンネルの路盤変状および対策工について

青柳 貢司 様(前田建設工業(株) 九州支店土木営業部)

概要:近年、変状や老朽化の進行により健全性や安全性が低下するトンネルが増加しており、適切な維持管理(点検、診断、対策の設計・施工)がより一層求められるようになってきている。本講演では、トンネルの路盤変状に着目して、過去の変状対策事例を整理分析しながら、今後の維持管理の在り方について管理者・設計者・施工者にとって有益となるような知見や提言について述べる。

長崎地盤研究会ミーティング:17:10-17:40

下記のフォームより、お申し込みをお願いします。

(右の2次元バーコードからもアクセスできます)

<https://forms.office.com/r/PSUbaj0pV7>



※ 建設系 CPD 協議会(地盤工学会)継続教育参加証もしくは測量系 CPD 協議会継続教育参加証を発行いたします。後日メールにより、電子ファイルを送付いたします。

## 長崎地盤研究会 ミーティング 議題書

### 【報告】

- 1) 前回(第 131 回)ジオラボ ミーティング議事要旨の確認
- 2) 令和4年度現場見学会の中止について
- 3) その他

<資料-1>

### 【議題】

- 1) 次回(第 133 回)ジオラボの予定  
開催日時：令和 5 年 4 月 \_\_\_\_\_ 日 (金) 14:00~17:30  
開催場所：長崎大学&zoom オンライン  
話題提供：
- 2) 次回(第 134 回)ジオラボの予定  
開催日時：令和 5 年 6 月 \_\_\_\_\_ 日 (金) 14:00~17:30  
開催場所：長崎大学&zoom オンライン  
話題提供：

#### <話題提供の候補>

- ・ 会員メンバー（特に若手・中堅）からの話題提供
  - ・ 技術士会会員による話題提供
  - ・ 他分野の長大教員による話題提供
  - ・ 石木ダム関連の話題提供（長崎県 有吉様）
  - ・ 県職員 OB による話題提供
- 3) その他